

平成 27 年度事業運営方針

交通局では、平成 28 年度までを計画期間とする経営健全化計画（23 年 4 月策定・25 年度見直し）に基づく経営の健全化に取り組んでいます。経営の状況について、収入面では、交通手段の多様化や少子高齢化の進行、民間バス事業者との競争激化などにより、経営の根幹である乗車料収入は減少傾向が続いています。一方、費用面では、経費削減に努めていますが、燃料価格の変動や、電気料金の値上げなど経費負担が大きくなっています。また、資金状況も局施設リニューアル事業の工事完成に伴う支払資金の増加など、さらに厳しい状況が見込まれます。

このような状況の中、平成 27 年度は、5 月に局舎・電車施設の移転が完了し、さらに 10 月にはバス施設を移転することとしており、リニューアル事業の集大成となる年と捉えています。

経営を取り巻く環境は、移転作業に伴う経費や、新施設の維持管理経費など更なる負担も見込まれており、依然として厳しい状況にあります。経営健全化計画の目標達成に向け、重点取組項目である「経営の効率化策」「増収対策」「経費削減策」など各種施策に積極的に取り組みつつ、次期計画の策定に向け、将来にわたり持続可能な方策の検討を進めるとともに、交通事業の基本である安全輸送の確保と乗客サービスの向上に、これまで以上に努めてまいります。

平成 27 年度の主な事業

ア 経営の効率化策や増収対策など

- (ア) 北・桜島営業所管内の路線に係る管理の受委託
- (イ) 夏休み子供乗車券（チャレンジパス）の販売
- (ウ) 貸切電車・バス、イベント電車の運行
- (エ) 低公害低床型バスの運行
- (オ) ゆーゆーフェスタの開催
- (カ) 観光レトロ電車の運行
- (キ) 交通局ふれあい推進事業

イ 車両及び施設の整備

- (ア) 電車停留場上屋整備（1 停留場）
- (イ) 観光バス（大型 1 両）、低公害低床型バス（大型 10 両）購入
- (ウ) バス停留所上屋整備（2 停留所）
- (エ) 電車ドライブレコーダー整備（客車 55 両）
- (オ) バスドライブレコーダー整備（30 両）
- (カ) IC カード自動積増機更新（9 箇所）
- (キ) 交通局施設リニューアル事業